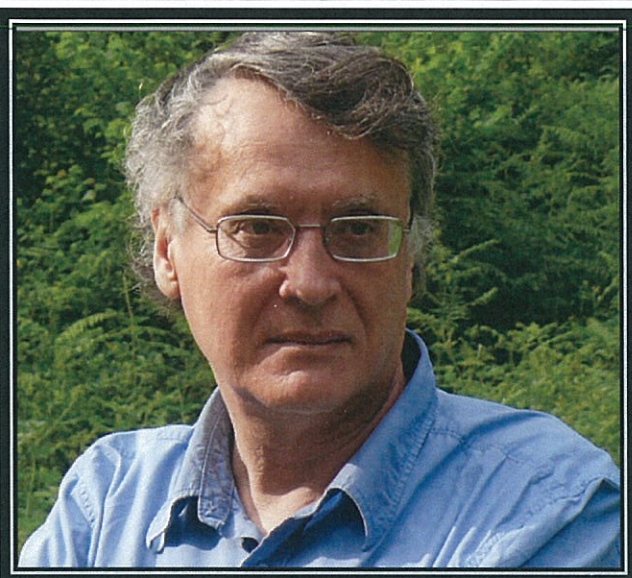


# 三人の日本のランボー 石川啄木・宮沢賢治・中原中也

講師：Yves-Marie ALLIOUX  
イブ・マリ アリュウ 氏



#### ◆プロフィール

1947年：パリ近郊に生まれる。  
1970年：ソルボンヌ大学仏文科卒  
1979年：パリ第七大学日本語科卒第三課博士号  
2002年：パリ第七大学：旧制博士号（博士論文  
「日本におけるフランスの詩」。  
二十四才の時、たまたま来日し、中原  
中也をはじめ、日本近現代詩人の世界  
を発見し、いわゆる日本学に転進した。  
尚、三島由紀夫の短編や依万智の『サ  
ラダ記念日』や日本の近現代詩などを  
翻訳し、2005の秋、中原中也仏訳詩集  
も発表した。

現在：ストラスブール大学とトゥールーズ大学で、  
数年間、日本語、日本近・現代文学を教えるから、  
引退して、詩の翻訳・研究をしつづけている。

#### ◆要約

「石川啄木・宮沢賢治・中原中也、この3人の日本の大詩人は、しばしば、日本でもフランスでもランボーと比較されている。しかしながら、三人も日本にランボーがいて、さすがに少し度が過ぎるではなからうか。いずれにしても、私がこの日本の三人の詩人とフランスの詩人アルチュール・ランボーを結びつけて考察しようと思ったのは、決してそれらの想像力を一つの側面に限定しようとする意図からでもなければ、ヨーロッパ中心の解釈を押しつけようとするものでもない。」（ご講演は日本語で行われます）

**日時：2014年4月28日（月）**

**講演 18：15～19：30**

**懇親会 19：40～20：40**

**会場：人環棟 105会議室**

人間・環境学研究科の客員教授によるセミナーです。専門の異なる院生・教員の皆さんも奮ってご参加ください。懇親会のみ参加も歓迎します。

主催：人環国際交流委員会

問い合わせ：国際交流委員会・留学アドバイザー  
藤田 fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp